

二〇一九年

十一月三日

日曜・祝日／無料開放日

美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ

アートコミュニケーター「～ながラー」募集

岐阜県美術館を拠点に、ともに活動する「アートコミュニケーター(愛称:～ながラー)」をこの秋より募集します。「～ながラー」は、アートから生まれるコミュニケーションを大切に、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、人と人、人と作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげていきます。(募集詳細はWebページにて)

アーティスト・イン・ミュージアム(AiM)

2016年に始まったAiM。美術館の内外で様々なアーティストによる公開制作と作品展示を行ってきました。リニューアルオープン後最初のAiMは、岐阜を拠点に平面作品から布による立体まで幅広く活動する美術家三輪祐子が、アトリエ(旧実習棟)を拠点に滞在制作を行います。

リニューアルオープン企画

2019年12月22日[日]まで全館無料開放

企画展1 11～12月20日(金) ETERNAL IDOL

美術館におけるコレクションとはどのようなものか。「エターナルアイドル-永遠の偶像、美のかたち」をテーマに、岐阜県美術館の所蔵品をひも解きます。未来を言祝ぐ過去からの贈り物として、コレクションの過去現在未来を紹介します。

企画展2 11～2020年1月5日(日) セカンド・フラッシュ

休館中に館外で行った4つの取り組み-「ナデガタインスタントパーティー×養老公園」、「平野真美×岐阜盲学校」、「松本和子×北方町生涯学習センター-きらり」、「宮田篤+笹萌恵×岐阜県図書館」-を美術館を舞台に再び共有し、「今」の美術館のあり方を探ります。

企画展3 11～2020年1月5日(日) 令和改元記念事業 イメージする力、生きる力-ある日の「美術と教育」の出来事

人は常に何かをイメージして生きています。イメージする力が、日々の生活の中でどういったときにどのように発揮されるのか、そして、どのように培われているのかを美術と教育の視点から考えます。

美初日 当日のイベント

- 11月3日(日・祝) 清流の国ぎふ文化の森の秋祭り
- トーク
10:30 「イメージする力、生きる力-ある日の『美術と教育』の出来事」ギャラリートーク
11:15 「ETERNAL IDOL」ギャラリートーク
13:00 「セカンド・フラッシュ」リレートーク
- シンポジウム
14:00-15:30 「イメージする力、生きる力-ある日の『美術と教育』の出来事」
- 終日開催
①「～ながラー」募集イベント【会場:コミュニケーションルーム】
② 2018年11月3日「楽日初日」クローズングに撮影した写真のプレゼント【会場:ホール】
- その他、野外ステージ、庭園にてワークショップ・パフォーマンス等開催予定

11月4日(月・振休)

- トーク
11:00 リニューアルオープントーク
14:00 「セカンド・フラッシュ」作家トーク
- 講演会
15:15 「ETERNAL IDOL」記念講演会

美

楽

南門が正門に

岐阜県図書館に面する南側エントランスを拡幅し正門とし、図書館との一体化を図り、館内外サインを一新します。

改修後の新機能

ナンヤローネステーションの設置

ホール中央にコンシェルジュ機能をもつ「ナンヤローネステーション」を新設します。

展示室の環境を整備

展示室の出入口を増設、自動扉化、照明のLED化を促進した展示環境を整えます。

コミュニケーションルームの新設

旧レストランスペースを来館者のための「コミュニケーションルーム」とし、新規事業「アートコミュニケーター(～ながラー)」の活動拠点とします。さらに、キッズコーナー、授乳室を新たに設けます。

カフェコーナーの設置

多目的ホールにカフェを設け、憩いの場をつくります。

作: HARIKO

私は岐阜県美術館です。私(岐阜県美術館)はあなたと友達になりたいです。そして、時々あなたと会いたいんです。いろんな話をしたいです。一緒に時間を過ごしたいです。私(岐阜県美術館)には、色々な友達があります。でも、もっともっと色々な人と友達になりたいです。私(岐阜県美術館)はあなたと一緒に想いを巡らしたいです。あなたと色々考えたいです。あなたと一杯遊びたいです。いつでも気楽に声をかけて欲しいです。そこでひとつ提案があります。あなたがつけた私のニックネーム↓

あなたがつけた私のニックネーム↓

一緒に美を楽しみながら互いに時を重ねていきたいです。これからもよろしくお願いたします。